

# 令和2年度 学校評価・学校関係者評価実施結果報告書

岡山県理容美容専門学校

## 1. 教育目標

本校は、実践的な理容・美容の職業教育を行い、これからの社会のニーズに対応できる優れた理容師・美容師を養成する理容美容専門学校である。

そのためには、一人一人の学生に基礎技術から専門的な技術・技能・知識の修得が出来るよう教育環境を整え、その中で理容・美容業の厳しさや楽しさなども体得させながら、理容・美容業に誇りを持った学生の育成に努めなければならない。そして、何より、理容・美容業がお客様に満足してもらえる技術とサービスを提供する業であることを認識させなければならない。

そこで、本校では従来から次の教育目標を掲げている。

- ・誠意----すべてのお客様に対して、真心を持って接することができるよう、日常において接客の心構えを持たせる。
- ・熱意----いかなる時でもお客様が満足できる結果が得られるよう、一生懸命頑張れる精神力を養う。
- ・創意----お客様に満足してもらえる必要な知識、技術、快適な施設や設備など、常日頃からよりよいものを創り出そうとする意識を持たせる。

これらの教育目標は、在学中はもとより理容・美容業に従事する上で、生涯持ち続けてほしいと願っている。

## 2. 本年度の重点目標と計画

### ① 国家試験合格体制の強化

昨年度の重点目標でもあった筆記対策の強化を念頭に効果的な技術指導および衛生指導にも力を入れ、理容科、美容科学生の国家試験全員合格を目指した。その結果、理容科は今年度も全員合格100%を達成した。さらに美容科においても実技試験99.1%、筆記試験100%という昨年度を上回る高い合格率であった。筆記試験対策の強化を行った成果はあったが、実技試験の衛生試験で不合格者が出たため、更なる衛生試験対策を行う。

### ② 理容・美容実践教育の強化

理容・美容業界と連携し、派遣講師によるヘアカット、着付、アップスタイル、カラーリング等、技術指導の充実を図れるよう計画はしていたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染予防を第一に考慮し派遣講師による指導を縮小せざるを得なかった。

また、理容所・美容所でのインターンシップも感染予防の観点から実施することはできなかった。

③ 校内コンテストの充実

毎年開催されていた全国学生技術大会等、校外コンクールが新型コロナウイルスにより中止となった。よって学生のモチベーションを低下させないためにも校内コンテストで業界団体に依頼するなど校外コンクールの疑似コンテストを行うなど校内コンテストの充実を図る。

④ 新型コロナウイルス感染対策の徹底

新型コロナウイルスの感染対策としてアクリル遮蔽版、各所に消毒剤を置く等の物理的対策と、学生の予防に対する心構えの指導との両輪で感染者が出ないように、またクラスター等を起こさせないように徹底した感染予防の指導を行う。

⑤ 学生支援の強化

コロナ禍における授業に対する不安や経済的問題等を担任・学年主任の面談で不安や悩みを取り除く。また、家計の急変等がないかも学生の様子に目を配りながら学生が安心して修学できるよう支援する。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1 0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1 0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1 0
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本校の美容科は毎年ほぼ定員充足し定員を大きく上回る入学志願者のある年もあり、このことは消費者の多様なニーズ等からも理容師、美容師養成に対する期待の高さが感じられる。今後は期待に応え、より多くの美容師を輩出するためにも美容科の定員増を考えている。

② 今後の改善方策

多様化する知識、技術が修得できるようより一層の職業教育の充実を図る。

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	④ 3 2 1 0

2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1 0
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1 0
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1 0
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1 0
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

評議員会、理事会により学校運営は健全に行われている。また、教職員組織も正常に機能し日々の職員終礼、定期的な職員会議において教職員相互の情報交換及び共通認識は十分に図られている。

② 今後の改善方策

本年も引き続き、地域社会等に対するコンプライアンスに力を入れていく。自動車通学における交通法規の順守や自転車通学のマナー、交通事故の防止等、常日頃から教職員が指導を行い、交通安全運動週間には更に指導を強化していく。コロナ禍にあるため、本校の掲げるスローガン「うつらず、うつさず、持ち込ませず」の通り、極力感染のリスクをなくす為に登校してから下校するまで外出を禁止し、本校を取り巻く地域社会との共生を推進していく。

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1 0
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1 0
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1 0
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1 0
3-5	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか	④ 3 2 1 0
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1 0
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1 0
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1 0
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1 0
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1 0
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1 0

3-12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1 0
------	------------------------	-----------

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

資格取得等に関する指導体制、カリキュラム内での体系的な位置づけに関して、特に美容科においては多くの資格取得等に関して指導体制は整備されている。しかし、理容科は美容科と比較して取得可能な検定等が限られている。修得者コースを設置し3年が経過し、年々入学者数が増加してきており、昼間課程理容科の新卒で入学を希望する学生が毎年一定数存在するため、理容科の授業カリキュラムの再考及び取得可能な資格の検討を行い学生の満足度を高めていきたい。

② 今後の改善方策

理容科の技術理論にも含まれているネイル、エステ等の授業の充実を図り、資格取得につながるよう、また多様化している顧客ニーズに応えるためにも理容美容業界との連携を深め、業界講師との研修を通じて最新技術の相互研修を実施しながら情報交換を行い、実習教員は時代に応じた様々な技術や・専門知識の修得、指導力向上に努めなければならない。

(4) 学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-3	退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1 0
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

令和2年度3月卒業(昼間課程)の国家試験合格率は美容科が7年連続で100%となった。美容科は国家試験合格率が99.1%と高い資格取得率であった。退学率に関して、理容科においては昨年度より退学率が上がってしまったため、更なる低減を図ることが課題である。

卒業生の活躍について、県内に就職したものに関しては把握をしやすいが、県外で活躍しているものに関しては、その多くが担任を通しての情報収集であったが、SNSの活用を強化し、より多くの情報を収集することが今後の課題である。

② 今後の改善方策

退学理由は経済面、精神面等多様化しているが経済面に関しては奨学金制度の充実がなされているので経済面での退学は極めて限られる。精神面に関しては1年生の初期に行うHQUから学生の性向を読み取り学生の様子に配慮しながら学生に寄り添う細やかな指導を行い、担任のみならず職員間で情報を共有し保護者とも密に連携を取り学生が初志貫徹できるよう指導行うことが求められる。

県外に就職した卒業生の活躍については、就職先との連携を強化するとともにデジタル関連に詳しい職員を中心にSNSの活用を強化しながら情報が収集できるように努める。

(5) 学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1 0
5-7	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1 0
5-8	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1 0

おいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

令和2年度4月より本校は新しい高等教育の修学支援制度の対象校になり、給付奨学金を受けた学生が対象で入学金や授業料の減免を受けることができるようになった。これにより経済的な支援体制はかなり整備されている。他県や県北からの学生に対する「住宅費支援制度」もかなり周知され遠方からの学生も増加してきている。

保護者との連携については、コロナ禍で例年のような後援会総会の中止や学生の学修成果の発表の場となる学園祭も無観客での実施になったが、後援会は書面表決の方法をとり学園祭に関してはYouTube 配信を行いコロナ禍においても工夫をしつつ連携をとることができた。

② 今後の改善方策

来年度もコロナの収束は不透明であるため今年度の対応を踏まえ、より一層保護者との連携を強化する。学生の健康管理体制については、学生が健康で安心して学校生活を過ごせるように校医と連携を取り感染対策を徹底して行う。健康診断や結核検診も密を避け、例年通り実施した。本年度は感染予防を第一に気の緩みが出ないよう常に指導を行っていたためかコロナに感染する者がおらず、例年に近い学校運営ができた。来年度も感染予防に重点を置きながら学生の健康管理に留意するよう心掛けたい。

(6) 教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1 0
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1 0
6-3	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0

おいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

教育設備においては近年、学生の就職先でリアジャンプの割合が高いため、後援会支援のもとリアジャンプ一台を拡充した。

各教室等に最新のプロジェクターやスクリーンを設置し、技術映像や資料掲示などができるよう環境整備の充実を行っているが、全教室には至っていないため全教室への設置を予定している。

学外における理容所・美容所でのインターンシップについて十分な教育体制は整えているものの、コロナ禍で実施ができず学生アンケートの肯定率も他の項目に比べ低めとなった。

② 今後の改善方策

専門職である理容師・美容師を養成する為にもインターンシップが大変有意義である。また、学生のモチベーションアップの為にも必要不可欠な実習であるが、コロナの収束が見込めない限り実施は不可能である。インターンシップが実施できない代わりとして企業との連携実習を可能な限り実施していきたい。

(7) 学生の受入れ募集

番号	評価項目	評価
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④ 3 2 1 0
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1 0
7-3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1 0
7-4	学生納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

年度初めはコロナの影響により校外で実施する進学相談会や会場型進学ガイダンスが軒並み中止となり本校で行う体験入学も中止せざるを得なかったが、高校生に体験入学を疑似体験してもらえるように本校のホームページで「技術体験コーナー」を設けた。6月以降は三密を避けて人数に制限を設けたり会場を2会場設定したりと工夫しながら例年通り実施し、伝えるべき情報は提供できた。

② 今後の改善方策

募集活動では新型コロナウイルス感染症対策に留意し三密を避けながら、体験入学等を通して高校生にとって進路決定に役立つ正確な情報提供を行う必要がある。来年度も人数に制限を設けながら実施する等工夫し、年11回実施している体験入学とは別に少人数制説明会を実施していることの周知を行い、正確な情報を高校生に提供していく。

(8) 財務

番号	評価項目	評価
----	------	----

8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1 0
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1 0
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本年度も本校の学園会計を指導する指吸会計センターから、本年度の学園会計は健全であり財政基盤は安定していることの報告を受けた。また、学園監事により学園・学校運営や資金収支においても適正であることの監査報告を受けている。なお、これからもより一層の透明性と健全経営を図っていく所存である。

② 今後の改善方策

本年度はコロナの影響により県内志向の学生が増加したことから、美容科の定員は充足した。しかしながら、今後は少子高齢化により入学者数の減少が見込まれる。退学者休学者を低減し授業料収入を中心とする財政基盤の安定と予算の厳格化に努めていく。

(9) 法令の遵守

番号	評価項目	評価
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1 0
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1 0
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1 0
9-4	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

例年通り、理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則及び専修学校法に基づき適正に運営を行っている。

学生アンケートを前期・後期に2回実施し、各分類項目の分析を行い問題点の解決をはかった。また、教職員による自己評価の結果に基づいて、学校関係者評価委員会において、客観的評価を得て学校運営の改善を行っている。

② 今後の改善方策

次年度においても関連する業界団体と連携協力し、自己評価での問題点や学校関係者評価での提言を受け入れて、よりよい学校づくりに励んでいきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1 0
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

年に2回近隣の地域清掃を行っている。

また、物理的・時間的の許す限り社会貢献・地域貢献や他の教育機関との連携授業並びに施設使用の提供を行っている。※についてはコロナの影響により中止

- ・豪雨災害時における緊急避難場所-----岡山市大元学区連合町内会
- ・チャレンジワーク！お仕事体験教室-----岡山市立福田公民館※
- ・パラ×コレ(障がい者のファッションショー)-----パラコレ実行委員会※
- ・うらじゃ祭り(うらじゃ踊り参加とメイクボランティア)---うらじゃ実行委員会※

② 今後の改善方策

引き続き地域清掃を行いながら更なる地域からの信頼獲得に努め、地域に根差した学校となれるよう学生の意識改革を行う。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和2年度の学校運営について、在学者数並びに入学者数はここ数年連続してして順調であり学校運営の安定的基盤を築いている。特にコロナの影響と考えられるが、県内志向および近県からの志望者が増えたために近年にない厳しい入試となり、多くの学生を不合格にせざるを得なかった。結果として本年度の募集活動において美容科は定員充足することができた。国家試験では、理容科は全員合格の100%を達成し、美容科は筆記試験においては100%であった。学生活動では、例年行われているうらじゃ祭り、パラ×コレなどはコロナの影響で中止となったが、学園祭については無観客であったものの保護者にはYouTube配信で学修の成果を見ていただくことができ、泊を伴う修学旅行は中止したが、近場への一日研修旅行の実施やスポーツ大会も競技内容に工夫を凝らし実施することができた。学生アンケートのコメントにも学校運営に関して高い評価と感謝の記述が多く、コロナ禍のなかではあったが、学生にとって満足度の高い学校運営ができたのではないだろうかと思われる。